

木馬会会報 (第89号)

桜花賞特集



98/04/10

～木馬達の予想～

本紙復活 栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

本当に久しぶりの本紙だ。いやー長かったね。とは言っても2位とは星の数での差はないわけだからうかうかしてられない。混戦といわれる桜花賞を制してこそ、本当の本紙だ。

「魔の桜花賞ペース」と良く言われる。その理由は、

①桜花賞の週から2.5mの仮柵が外されるため、各馬その部分に殺到する

②逃げてこそその馬や、早熟ですでに終わっているような馬が奇策として逃げたりする

で、Hペースになることが多いのだ。さて、今年はどうだろう。②の逃げたい馬はヤマノセンブーだけ。そして注意すべき点は、終わっている馬がないということだ。各馬チャンスはあると考えている。どれもこれも逃げたくない状況を見ると、Hペースにはならないだろう。

この展開予想からいえることは、1400の速い流れを経験してきた馬より1600を経験してきた馬のほうが有利ということ。まあ、これは毎年いえることだが。また、押さえ切れないロンドンが4角で先頭に立つはず。このロンドンを追いかけて早めにしかけてはだめである。自分の馬の脚を良く知っていて、それを信頼して追い出せる騎手一馬の関係が保たれていることも重視されよう。

これらを前提に検討を進めるが、その前に、おいロンドン！！なんであんな負け方をするんだ！！あれじゃあ桜花賞で人気なくなっちゃうじゃないか。君が弱いことはファンタジーSの時にわかってたよ。しかも、去年はなぜ海外に放出しちゃったんだという物議を醸したドクターデヴィアスの産駒も4歳になってさっぱり。ドクターデヴィアス自身は2400もこなしたが、兄弟は（シンコウキングは弟になる）揃ってバリバリの短距離馬で、デヴィアスも早熟だったし、結局ここまでの種牡馬なのだろう。トライアルか、本番でこけるとにらみ、トライアルで君を外して18点も買ったのに外れて…もうおいしいことは何もないよ。

まず本命はダンツシリウス。阪神3歳のときも本命にしたが、そのときも奇をてらって本命にしたわけではない。それまで乗ってきた騎手が揃ってこの馬を賞賛しており、その素質が順調に開花したと考えるべきだろう。阪神3歳当時は、あのような横綱相撲をしてまで勝てるほど力をつけきっていなかったただけだ。シンザン記念でアグネスワールドを5馬身ちぎったときは、とてつもない道悪巧者だと思ったが、前走あれだけ掛っていたにもかかわらず、メンバー中随一の上がりを見せた。これは本物とみるべきだろう。一貫して1600を使ってきたのもいいし、桜花賞では前走よりかなりペースが上がるはず。鞍上も、各トライアルですべて連絡みし、各馬の脚を量ってきた四位。この馬を本命にするのが筋だろう。道悪になればほとんど固い軸馬になる。さて相手だが、負かしてきた相手を見ればエイダイクインが一番強いはず。何しろ、ダービー候補(皐月賞には出ないで欲しかった)エモシオン、牝馬外国産最強馬スギノキューティーを下しているんだから。でも、なんとなく、違うような気がするんだよね。それは多分、芝では左回りでしか勝ってないこと。勝ち方に凄み、切れを感じられないことからきてるんだろうな。▲をどれにしようかと思ったが、なにかを取り上げてもそれが一番確率が高いというわけでも

ないので、ダンツからの7点買いにすることに決めた。

じゃあ、どれに流すかということになるが、まあ、アインブライドは外せないだろう。3歳チャンピオンであるし、阪神得意、前走もトライアルとしての乗り方。1番に押すタイプではないが、消す要素はきわめて少ない。その他には穴っぽいところを先に挙げておこう。ロッチは2戦のキャリアが気になるが、新馬勝ちしたときに福永が「桜花賞に間に合わせたい」といっているとおりの、素質はかなりのものだろうと推測される。前走も高内容で、名牝系に、底力あるダンシングブレーブ産駒だし、大駆けの可能性を秘める。デジャブーは高齢になってから牝馬の活躍馬しか出さないノーザンテースト産駒。最後の大家といえるか？体質が弱く、成長待ちの段階なのだがしぶといレースをしており、この馬もかなりの素質があると思う。ファレノプシスは実際に強い馬を負かしたわけではなく、前走-8キロも小柄な馬だけに気になる。鞍上が武に変わらなければ消しだったんだけどねえ。武なら一応買っとくか。マックスも姉がそうだったように一步足りない気もするんだよねえ。どうも強調材料がない。バプティスタはその詰めの甘さ・鞍上から、プライムステージにそっくりのような気がする。岡部は最近冴えないし、プライムよりランクが下の気がしてGIでは足りない印象。

というように予想は結果が出たものの、前提にしたペース・展開が外れればまた違う馬同士で決まることも十分考えられるほど、混沌としている。だから、あまり買っちゃだめよ。金額的にはあまりいけないだろう。

◎…ダンツシリウス ○…エイダイクイン

△…アインブライド、ロッチラヴウインク、エアデジャブー、
ファレノプシス、マックスキャンドウ、バプティスタ

前号で「個人的にはオジジアン産駒のバトルラインに勝ってもらいたい。」と書いた。その理由は大樹Fの3歳馬のオジジアン産駒に出資を予定していたからなのだが、なんと、会員優先申し込みの時点で満口ときやがった。こうなりゃ、「絶対走るな！(--)」と思うのが正直なところ。

フェブラリーSで復活したと思ったのもつかの間、3月が絶不調。最近やっと立ち直りかけてきたので、またここでガツンと当てたいものだ。現在の回収率65.2%

—— ライスシャワシャワの予想はよそう ——

◎…ファレノプシス、○…アインブライド、▲…サクラスエヒロ

△…エイダイクイン、ロッチラヴウインク、ロンドンブリッジ、ダンツシリウス

ダンツ vs エイダイの一騎打ちムードではあるが、展開次第でどうとでもなりそうな今年の桜花賞。そうならば、騎手の腕を信じてファレノプシス本命。鞍上が武豊に超強化されるわけだから、前走負けただけで人気落ちる今回は絶好の狙い目。4連勝をかけて臨んだ前走のチューリップ賞は、出遅れがたたり4着。ゴール前の勢いでは勝ったダンツシリウスに負けてなかったし、明らかに脚を余していた。武ならそんなヘマはしないだろうし、前々走のエルフィンS圧勝劇が再現される。

相手には、阪神は走る3才チャンピオンのアインブライド。いつもは、後方待機から直線でインを突

いてくるのに、前走は先行して外目を追い込んできたあたり、明らかに桜花賞を意識した試走にすぎなかったと判断する。負けたとは言え、それでも3着にきたのだから、やはり力はある。

3番手は、抽選をクリアしなくてはならないがサクラスエヒロ。500万の特別を勝っただけの身であり、実績的には上位陣から1枚も2枚も落ちるが、前走の圧勝を見る限り今年の桜花賞の穴馬中の穴馬ではないか。兄は(4才の春までだったが)サクラスピードオーだし。ファレノプシスと同様、乗り替わりになるが河内に替わるのだから、何の心配もない。むしろノリよりは安心して見ていられる。

以下は、エイダイクイン、ロッチラブウインク、ロンドンブリッジ、ダンツシリウスの順。

メニーフレンズ

どうも。久しぶりです。木馬会の恥部、メニーです。「恥部」といえば、田原元騎手は、どうなるのでしょうか。このまま、競馬会永久追放か、それともうまく手打ち、いや手打ちをするのか。見物です。ところで、桜花賞ですが、先日の「週間競馬日記」で述べたように、ワンパターンといわれようと絶対的に牝馬クラシック路線に自信のある、社台の馬から行きます。

◎パプティスタ、エアデジャヴー ○メイショウアヤメ
△ダンツシリウス、エイダイクイン

予想はウソヨ 四国の井崎

桜の季節に「菊」沢騎手エイダイクインだ。
サクラスターオーが菊花賞を勝った時、ゴールの瞬間、杉本アナが「菊の季節に桜が満開アーイ！」と叫んだのが非常に印象に残っている。ちなみに枠は5枠2頭で菊の黄色で決まった。
桜花賞では大昔になるがテスコガビー圧勝の時の「強い、強い、うしろからは何にも来ない！」がもっとも記憶に残っている。
さて前置きはこのくらいにして、恒例の過去3走のタイム評価を示す。

	3走前	2走前	前走	
エイダイクイン	+0.3	+0.9	+0.4	A
ロンドンブリッジ	+0.3	+0.5	+0.1	B
マックスキャンドウ	+0.5ダ	+0.1ダ	+0.4	C
ダンツシリウス	-0.2	+1.2	-1.1	d
パプティスタ	-0.2	+0.4	+0.1	
ファレノプシス	+0.2	-0.4	-1.4	
メイショウアヤメ	-1.3	+0.1	+0.2	
ヤマノセンブー	+0.6ダ	+0.0	-1.0	
アインブライド	+0.0	-4.1	-1.3	
オータムリーフ	+0.1ダ	-0.2	-0.2	
エアデジャヴー	-0.4	-0.1	+0.2	
アマトベン	-0.2	-1.5	+0.5	
サクラスエヒロ		-1.3ダ	+0.1	
オルカインパレス	-1.2	-1.6	-0.8	
ロッチラヴウインク		-1.5	-1.2	
ラヴラヴラヴ	-0.5	-1.6	-0.8	

フィールドフラワー -0.1ダ +0.2ダ -0.5
3走とも黒字は3頭、最大値はダンツシリウス。この4頭から勝ち馬が出ると予想する。

◎エイダイクイン

▲ロンドンブリッジ、マックスキャンドウ、ダンツシリウス

エイダイクインはレース振りが非常に安定しており、タイムも群を抜いており堅い軸馬だろう。問題は菊沢騎手だが少々緊張しても馬の方が落ちついているから大丈夫だ。去年のメジロライアンに続き今年も内国産メジロマックイーンの初年度産駒のG1勝利というふうに期待したい。マックイーンもライアン同様、スピード、スタミナともに備えていた。マイル戦は決して短くはない。

さてトライアルで人気を裏切ったロンドンブリッジだが、レース直後は本番でも不要と思った。しかしこの人気の落ち方はひどい。タイム評価で見直した。かかるのが心配というが、本番はペースが早くなるのでかえっていいのでは。2走前出遅れて勝った時のようなレースが出来れば問題ない。1週前追い切りはすばらしかった。ただ人気になれば消しかなとも思う。人気次第だ。単勝が6倍以上つけば買いた。

マックスキャンドウ、ダンツシリウスには嫌なデータがある。過去10年の連対馬20頭はすべて新馬勝ちをしており、未勝利勝ちのこの2頭はダメということになる。しかし、時計評価はかなり下位とは差があるので消す訳にはいかなかった。

とにかくエイダイクインに期待する。単賞は1人気で3.5~4.0倍と予測する。穴馬券は5の目買いで押さえることとする。エイダイクインの勝ち振り如何で皐月賞のエモシオンの評価を決めたいと思っている。

本紙経緯			
	期 間	防衛週数	本紙名
初代	平成7年桜花賞~平成8年桜花賞	17	TP
二代目	平成8年皐月賞	1	へな
三代目	平成8年天皇賞・春~平成8年NHKマイル	2	四国の井崎
四代目	平成8年高松宮杯~平成8年ダービー	3	TP
五代目	平成8年安田記念~平成8年エリザベス女王杯	6	へな
六代目	平成8年マイルCS	1	トゥインクルダンディ
七代目	平成8年ジャパンカップ~平成8年朝日杯3歳S	3	TP
八代目	平成8年スプリンターズS~平成9年スプリンターズS	21	トゥインクルダンディ
九代目	平成9年有馬記念~平成10年フェブラリーS	2	ドロジョ
十代目	平成10年桜花賞~		TP

第58回 桜花賞

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
			アマートベン	ティエムオーロラ	ロッチラヴウインク	ロンドンブリッジ	マックスキャンドウ	バプティスタ	サイキョウザクラ	アインブライド	エアデジャブー	ファレノシプス	ダンツシリウス	オルカインパルス	クリノオードリー	メイショウアヤマ	エイダイクイン	ラヴラヴラヴ	オートムリーフ	ラテイル	馬名
			武幸	田島裕	角田	松永幹	蛭名	岡部	熊沢	古川吉	横山典	武豊	四位	藤田	大崎	飯田	菊沢徳	佐藤	石橋	高橋亮	騎手
					△		△	△		△	△	△	◎				○				TP
						◎	△				△		◎				△				ドロジョ
						◎	△	△		△	△	○		△			△				トインクガソディ
					△	◎	△			△		△	○				△			△	YO
					△		△	△		△			△				◎				おけらくん
					△	△						△	◎				◎				ふえら
							△			○		▲	△				◎				心配御無用!
					△	△				○		◎	△				△				ライスシャワー
					◎	▲					○		▲				△				へなりん
																					ラッキー
						△		△		▲		△	○			◎	△				ミスターX
								◎			◎		△			○	△				メモリス

717	桜花	皐月	天春	NHK	高松	オース	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	功女	マイル	J C	阪牝	朝日	スP	有馬	717
TP	○	○	○										○	◎	○		○	○	○	☆
ドロジョ		○	○					○	○	○	○		○	◎	○		○	○	○	
トインクガソディ	○	○				☆			○	○	○		○	◎	○		○	○	○	
YO		○	○			☆		○	○	○	○		○					○	○	
おけらくん		○	○					○	○	○	○		○	◎		☆	○			
ふえら	○	○	○					○	○	○	○		○				○	○	○	
心配御無用!	○	○	○						○	○	○		○				○	○	○	
ライスシャワー		○	○						○	○	○		○	◎			○		○	
へなりん		○	○				◎	○		○	○									
ラッキー		○	○						○	○	○				○		○			
ミスターX		○	○						○	○	○								○	
メモリス								○												

○...~20倍 ◎...20~50倍 ☆...50倍~

さあ、いよいよG1シーズンの開幕です。みなさんの寄稿をお待ちしております。